



# 無限大に広がれ～感性豊かに 修学旅行

5月27～30日、3泊4日の日程で、3年生が修学旅行に行ってきました



た。清里キープ自然学校でのナイトハイク・酪農体験、富士山麓青木ヶ原樹海の洞窟探検、東京都内班別行動、劇団四季の「ライオンキング」鑑賞、東京スカイツリー見学、ソラマチでの買い物など、大自然と大都会の両方を、思いっきり体験する修学旅行です。単なる観光ではなく、生徒は体験や出会いから、それぞれの視点で様々な事を感じたようです。例えば、ナイトハイクで読んでくれた詩から「生きる意味」に感動したこと。育てた雄の牛が精肉されて戻ってきたとき「命をいただく。そこには感謝しかない」と話してくれた酪農家の言葉。班別行動で外国人に話しかけたときの緊張感と楽しさなど、体



験から、じっくりと考えられる感性の豊かさが印象に残りました。

6月6～7日、2年生は田辺市を拠点に体験学習合宿を実施しました。天神崎ナショナル

## 観て触れて感じて2年生体験学習合宿

トラスト運動の現地調査を中心とした「体験・学び」に重点を置いた合宿です。天神崎では湿地で植物の観



察を行い、磯観察で様々な海洋生物を採取し豊かな多様性を実感しました。学びの丘ビッグUでは100万倍の電子顕微鏡によるミクロの世界を体験。2日目は、和歌山市に大雨警報が発令される中、雨の合間を縫っての活動になりました。「近大マグロ」で有名な近畿大学白浜水産研究所で最先端の養殖技術を学び、みなべ千里の浜でウミガメ保護について話を聞きました。そして、今年初めて道成寺を訪問しました。住職さんから道成寺の歴史を聞き、千手観音菩薩像など数々の国宝や



2世紀頃ガンダーラで出土した仏像など、貴重な文化財を観ることができました。最後に「安珍清姫」の絵解き説法を楽しみ、2日間の合宿を終えました。理系の体験学習だけでなく、また違った視野を広げられたことが新鮮でした。

## 届け私の想い 少年メッセージ

9日、少年メッセージ和歌山市大会が、開催され、原稿審査で選ばれた各中学校代表15人が熱弁を振りました。向陽中からは3年生の岩田陽理さんと瀧川凛奈さんが出場。瀧川さんは「伝統をつないでいくために」と題して、昔から郷土に伝わる「篠笛」を冒頭で披露し、この音色を受け継いでいく決意を笑顔で語りました。岩田さんの演題は「私の一番きれいな色」。幼い頃から絵を描くことが大好きで、「私にしか描けない絵・色」とは何かを深く考えたメッセージでした。岩田さんは優秀賞を受賞し、県大会に出場します。

